

令和7年度

# 敦賀市立看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻

[修士課程]

日本看護協会の  
認定看護管理者認定審査  
受験資格が得られます



 敦賀市立看護大学

Tsuruga Nursing University

Graduate School of Nursing  
Nursing Science Major

# 教育理念

高度な看護実践力を基盤にした学術研究を通して  
看護技術の開発に貢献する人材、更なる看護学体系の構築に  
寄与することができる能力を有する人材を育成することを目指します。

## 教育目標

本研究科では、教育理念を達成するため、次の4項目を教育目標とします。

- 1 専門的知識・技術・実践能力を備え、個々人および地域のニーズに応えられる能力を有する高度な看護実践者を育成する。
- 2 「救急・災害看護学」、「地域・在宅看護学」、「母子看護学」の分野において実践・研究の中心的役割を担える人材を育成する。
- 3 看護実践現場における課題解決を推進し、看護の質改善を実現する専門領域の高度な実践能力やマネジメント等の能力を有する人材を育成する。
- 4 看護学の高度な専門性の追求、および課題解決のための研究能力を有し、臨床現場で教育的役割を担うことができる人材を育成する。

## 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

敦賀市立看護大学大学院看護学研究科は、次のような学生を求めます。

- 1 学士相当の学力、論理的思考力を持ち、看護への探求心の高い人
- 2 看護の対象を理解し、個々のニーズに応じた看護を創造し、実践することができる人
- 3 医療や社会情勢の変化に対応し、他職種と協働して卓越した看護を提供するための努力を惜しまない人
- 4 研究的視点から現象を分析し、論理的に研究課題を導く能力がある人
- 5 看護学の発展に寄与し、社会に貢献しようと自己研鑽に努めることができる人

上記を評価・判定するため英語および小論文、面接（口頭試問を含む）試験を課しています。

## ディプロマ・ポリシー

- 1 専門的知識・技術・実践能力を身に付け、看護実践能力の向上をはかり、個々人および地域のニーズに応えられる能力を有している。
- 2 医療や社会情勢の変化を理解し、「救急・災害看護学」、「地域・在宅看護学」、「母子看護学」の分野において卓越した看護が提供できるとともに研究・教育の面でも役割が担える。
- 3 看護実践現場における課題解決を推進し、看護の質改善を実現する専門領域の高度な実践能力やマネジメント等の能力を有している。
- 4 研究的視点から看護の現象を分析し、研究の手順を踏んで課題を追求することができる。
- 5 看護学の高度な専門性を追求し、看護学の発展に寄与し、貢献することができる。

## カリキュラム・ポリシー

- 1 看護学専攻科目の専門性を高めるために、「救急・災害看護学」、「地域・在宅看護学」、「母子看護学」の3つの分野を置き、領域を超えて履修できるようにそれぞれの分野から看護専門科目を提供している。
- 2 学際的・学術的視野をもって看護の研究課題に取り組むことができるよう、看護関連科目を配置している。
- 3 研究的視点から現象を分析し、論理的思考能力の育成ができるように看護共通科目Ⅰを配置している。
- 4 看護における臨床判断能力を支える科目として看護共通科目Ⅱを配置している。

## カリキュラムの構成

「共通科目」と「看護専門科目」で構成されています。

希望する分野を選択し、その分野の担当教員の履修指導を受けます。個々の就学課題によっては、担当教員以外の教員から指導を受けることができます。

また、必要に応じ、学部の科目を履修することもできます。

## 共通科目

看護学専攻科目を支持する医学系・社会学系科目、看護学専攻科目の隣接領域に位置する科目を学びます。

## 看護専門科目

### 【救急・災害看護学分野】

災害や事故、疾病等による重篤な状況にある患者や家族に対して、高度な医療処置や看護が実践できる能力を身に付けるとともに、研究を通して救急・災害看護学の発展に寄与できる人材の育成を目指します。

### 【地域・在宅看護学分野】

地域住民の健康や療養生活、介護予防などを支援するために必要な理論を学び、看護技術が実践できる能力を身に付けるとともに、研究を通して地域・在宅看護学の発展に寄与できる人材の育成を目指します。基礎看護学、老年看護学、地域看護学、在宅看護学、慢性看護学、精神看護学はこの領域に含まれています。

### 【母子看護学分野】

次世代を担う子どもの健康と子どもを養育する母親や家族に対して健康課題を解決するための実践能力を身に付けるとともに、研究を通して母子看護学の発展に寄与できる人材の育成を目指します。

## 科目一覧

区分	授業科目	単位数		配当年次		
		必修	選択			
共通科目	看護関連科目	経済学と看護		2	1	後
		国際文化論		2	1	後
		英語コミュニケーション		2	1	前
		医療情報学		2	1	前
	看護共通科目Ⅰ	研究方法論	2		1	前
		看護医療倫理学	2		1	前
		看護管理学		2	1	前
		看護理論		2	1	前
	看護共通科目Ⅱ	フィジカルアセスメント		2	1	後
		病態と臨床診断学		2	1	前
臨床薬理学			2	1	後	
看護専門科目	救急・災害看護学	救急治療学特論		2	1	前
		救急看護学特論		2	1	前
		クリティカルケア看護学特論		2	1	前
		災害看護学特論		2	1	前
		救急・災害看護学演習		2	1	後
		救急・災害看護学特別研究		8	1後～2前後	
	地域・在宅看護学	看護組織学特論		2	1	前
		地域看護学特論		2	1	前
		在宅看護学特論		2	1	前
		老年看護学特論		2	1	前
		慢性病看護学特論		2	1	前
		精神保健看護学特論		2	1	前
		地域・在宅看護学演習		2	1	後
		地域・在宅看護学特別研究		8	1後～2前後	
	母子看護学	母性看護学特論		2	1	前
		周産期治療看護学特論		2	1	前
		小児看護学特論		2	1	前
		母子看護学演習		2	1	後
		母子看護学特別研究		8	1後～2前後	

## 修了要件および履修方法

本研究科に2年以上在籍し、共通科目から必修4単位、選択8単位以上、看護専門科目から特論8単位以上（選択した分野から特論4単位以上を含む）、選択した分野の演習2単位、特別研究8単位、計30単位以上の修得を修了要件とします。

## 修了後の取得資格

学位「修士（看護学）」

看護管理に関連する学問領域の修士以上の学位を取得した者は、日本看護協会の認定看護管理者認定審査受験資格が得られます。

## 特別研究の担当教員

※志望する分野、研究等に関するご相談、ご質問は下記の教員にご連絡ください。

※ E-mail アドレス末尾に@tsuruga-nu.ac.jp を付けてください。

### 地域・在宅看護学分野

教授/研究科長 林 祐一		E-mail	y-hayashi
専門領域	老年医学 神経内科学	研究課題	高齢者のポリファーマシーの是正に関する研究 神経変性疾患の診断と医療連携に関する研究 プリオン病の早期診断と医療連携に関する研究
教授/学長 内布 敦子		E-mail	a-uchinuno
専門領域	がん看護学	研究課題	がん患者の症状マネジメントに関する研究
教授 喜多 義邦		E-mail	y-kita
専門領域	疫学	研究課題	生活習慣病の環境要因および遺伝的要因における危険因子の探索 循環器疾患登録に基づく罹患率の年次推移に関する研究
教授 道重 文子		E-mail	f-michishige
専門領域	看護技術学 看護管理学	研究課題	口腔ケアに関する研究 看護継続教育に関する研究 臨床判断力をたかめる看護過程に関する研究 短時間勤務看護師の活用に関する研究
教授 伊部 亜希		E-mail	a-ibe
専門領域	基礎看護学	研究課題	生活援助技術および褥瘡予防ケアに関する研究 血流（皮膚）の評価手法開発に関する研究
教授 北村 隆子		E-mail	t-kitamura
専門領域	老年看護学	研究課題	介護予防に関する研究 フットケアに関する研究
教授 井上 聡子		E-mail	s-inoue
専門領域	精神看護学	研究課題	地域に暮らす統合失調症者の生活支援に関する研究 精神疾患を持つ患者のストレスに関する研究 慢性期にある精神疾患患者のセルフケアに関する研究
教授 新田 紀枝		E-mail	n-nitta
専門領域	在宅看護学	研究課題	訪問看護師による看護実践の評価に関する研究 在宅療養者およびその家族への支援に関する研究
准教授 前川 直美		E-mail	n-maegawa
専門領域	老年看護学	研究課題	高齢者のその人らしさに関する研究 高齢者を支える家族に関する研究 エンドオブライフケアに関する研究 臨地実習に関する研究
准教授 石橋 佐枝子		E-mail	s-ishibashi
専門領域	精神看護学	研究課題	児童の精神疾患のアセスメントに関する研究（発達障害、行動障害） メンタルヘルス尺度に関する研究 オープンダイアログに関する研究

講師 横山 浩誉		E-mail	h-yokoyama
専門領域	地域・在宅看護学	研究課題	在宅看護に関する研究 高齢者と運動習慣に関する研究
講師 川口 桂嗣		E-mail	k-kawaguchi
専門領域	地域・在宅看護学	研究課題	地域住民との協同による研究 保健師教育に関する研究 森林セラピーに関する研究

### 救急・災害看護学分野

教授 山崎 加代子		E-mail	k-yamazaki
専門領域	災害看護学 救急看護学 周手術期看護学	研究課題	救急外来における看護師の臨床判断 周手術期看護に関する研究 災害時の看護活動と備え 看護職に求められる原子力災害に関する教育
教授 徳永 日呂伸		E-mail	h-tokunaga
専門領域	臨床医学 医療教育	研究課題	スポーツ医学 緊急被ばく医療 離島・船上・僻地などにおける医学 医療現場における倫理 医学教育
教授 池原 弘展		E-mail	h-ikehara
専門領域	救急・災害看護学	研究課題	感染看護に関する研究 クリティカルケア看護に関する研究 看護現象の抽出（概念構築・理論構築）に関する研究 テキストマイニングを用いた研究 地域連携に関する研究

### 母子看護学分野

教授 佐々木 綾子		E-mail	a-sasaki
専門領域	母性看護学 助産学	研究課題	コロナ禍における妊娠・出産・産後の体験が乳幼児をもつ母親・父親の育児に及ぼす影響 産婦の安全と夫も含めた満足な分娩のための3次元分娩アニメーションソフト開発と評価 虐待・マルトリートメント防止のための看護職の支援に関する研究
教授 野々山 未希子		E-mail	m-nonoyama
専門領域	母性看護学	研究課題	性感染症予防教育に関する研究 思春期教育に関する研究 性教育に関する研究 リプロダクティブヘルスに関する研究
教授 濱園 環		E-mail	t-hamazono
専門領域	小児看護学	研究課題	乳児との触れ合いが与える心身への影響に関する研究 子どもとの触れ合い体験プログラム作成と効果評価に関する研究 医療的ケア児を支援する訪問看護師の実践に関する研究 慢性疾患児・障がい児の家族支援に関する研究

1 年 次

2 年 次

4 月

研究課題を明確化  
主担当教員の決定

2 月

研究計画発表  
研究倫理審査

研究データ収集等の  
研究活動

1 月～2 月

修士論文の提出  
公開発表、最終試験

3 月

修了  
学位授与

※社会人学生への就学支援として、長期履修制度を導入しています。また、修了認定は、当該年度の春季または秋季の2回です。

就学支援制度

① 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修できる制度です。申請をし、許可された方が対象となります。

本学では、標準年限2年を超え3年または4年にすることができます。なお、許可された長期履修期間を満了しないうちに修了要件を満たす見込みのある場合は、履修期間の短縮をすることができます。

② 開講時間

大学院設置基準第14条の教育方法を採用し、土、日曜日や夜間、一定期間の集中講義など講義の開講時間に便宜をはかります。

③ ティーチングアシスタント

大学教育の充実および指導者としてのトレーニング機会を提供します。学部の講義や演習等において、教育補助業務を行う学生に対し給料支給を行います。

④ リサーチアシスタント

大学研究の充実および研究遂行能力の育成を図ります。研究補助業務を行う学生に対し給料支給を行います。

⑤ 科目等履修生制度

特定の科目について履修し単位を取得したい方を正規学生の教育に支障のない範囲で受け入れます。取得した単位は、本大学院に入学後、既修得単位として認定します。詳細は、教務学生課にお問い合わせください。

学費等納入金

	入学料	授業料		初年度納入額
	入学時	4月	10月	
敦賀市内の方 <sup>(注1)</sup>	166,000円	267,900円	267,900円	701,800円
敦賀市外の方	332,000円	267,900円	267,900円	867,800円

(注1) 敦賀市内の方とは、以下のいずれかに該当する方をいいます。

ア) 令和6年4月1日以前から引き続き敦賀市内に住所を有する方

イ) 令和6年4月1日以前から引き続き敦賀市内に1親等の親族又は配偶者が住所を有する方

(注2) 上記の他、テキスト代等の費用が必要です。

※授業料等の改定が行われた場合には、改定後の授業料等が適用されます。

## 令和7年度 学生募集概要

### 入学定員及び募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員		
			一般入試	社会人入試	推薦入試
看護学研究科	看護学専攻	8人	8人程度	若干名	若干名*

※推薦入試は敦賀市立看護大学の学部生に限る。

### 試験日程等

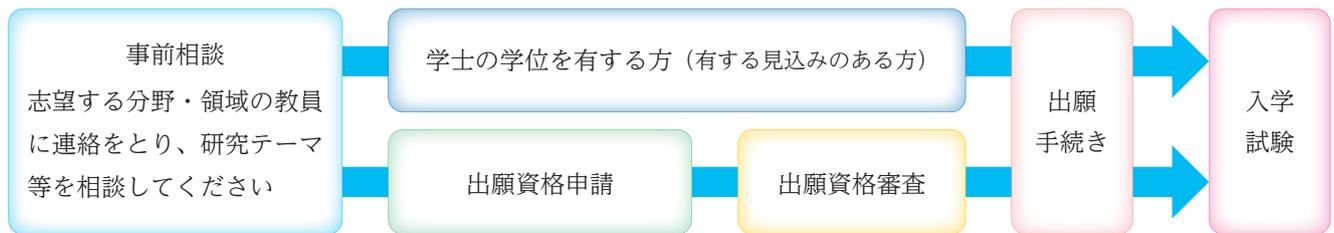
試験区分	出願期間	試験期日	試験会場	試験科目	合格発表
一般入試	令和6年 8月19日(月)～	令和6年 9月14日(土)	敦賀市立 看護大学	・英語 ・小論文 ・面接(口頭試問を含む)	令和6年 9月20日(金)
社会人入試	8月26日(月)			・小論文 ・面接(口頭試問を含む)	
推薦入試				・面接(口頭試問を含む)	

※その他の詳細は、本学ホームページにて学生募集要項(6月下旬公表予定)を参照してください。

※二次募集を実施する場合があります。その場合は、本学ホームページ等でお知らせします。

※入学検定料 30,000円が必要です。

### 事前相談 出願から入学試験までの手続き



※指導を希望する教員との事前相談を行っています。電子メール等をご活用いただき、出願に先立って事前相談を行ってください。

※出願資格審査とは、本大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があるか否かを出願前に審査することです。詳細は、学生募集要項を参照してください。

### オンライン進学相談

オンライン進学相談を実施しています。本学ホームページからお申し込みください。

敦賀市立看護大学 オンライン進学相談申込み (Google フォーム)



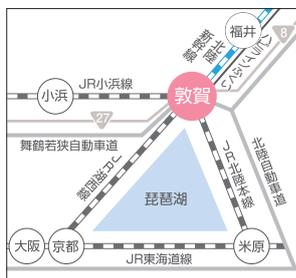
## Access 敦賀市立看護大学 TSURUGA Nursing University

〒914-0814 福井県敦賀市木崎78号2番地1 TEL 0770-20-5500(代) FAX 0770-20-5548 URL <https://tsuruga-nu.ac.jp/>



#### 敦賀駅まで

京都から…特急で52分・新快速で87分  
名古屋から…新幹線+特急で67分  
大阪から…特急で81分・新快速で119分  
金沢から…新幹線で41分



#### 敦賀駅から

敦賀市コミュニティバスで  
14分

#### 敦賀I.C.から

車で12分

#### 敦賀南スマートI.C.から

車で12分

